

三心を磨く

学校だより No. 10

令和2年12月25日(金)発行

須坂市立東中学校

文責: 嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

二学期を終えて

二学期終業式～校長先生の話より

令和2年も残すところ6日となり、登校日数95日の2学期が、本日をもって終業します。二学期の始業式や10月の校長講話でも触れましたが、前半は、互いに関わり合い、一つの目標に向かって大きなエネルギーをアウトプットしていく「動」の期間で、後半は、心を落ち着かせて自分自身を見つめる「静」の期間でした。

全校の皆さん一人一人にとって、もちろん課題や反省はあったと思いますが、実り多き2学期だったのではないかと思います。学校全体においても、コロナ禍で様々な制約と困難のある中、感染防止の配慮をしながら新たなチャレンジを進め、多くの成果を得ることができました。生徒の皆さん、先生方、保護者・地域の皆さん、すべての方に感謝です。

さて、先日の生徒総会は所用で不在でしたので、この場を借りて、生徒会役員の皆さんにねぎらいの言葉を伝えたいと思います。

「仕事その人の器を大きくする」そんな言葉を1年前に話した記憶があります。青木生徒会長を始めとする役員の皆さんは、不安と希望を抱きながら責任ある仕事に取り組み始めましたが、その思いはコロナによって閉ざされてしまいました。しかし、先が見えない中でも、例年の何倍も苦勞しながらそれぞれの役割を期待以上に果たしてくれました。おそらく、皆さん自身が自分の器が大きく成長した手応えを持っているのではないのでしょうか。本当によく頑張ってくれました。ありがとうございます。そして、先頭に立つ役員を支え続けてくれた、3学年の皆さん。皆さんも自分の果たすべき役割を十分に果たしてくれました。学校のリーダーとして自覚を持ち、行動で示し続けてくれた3学年の皆さんは、東中の誇りです。本当にありがとうございます。皆さんのその姿は2学年も1学年もしっかり心に刻んでいます。武内会長以下、新役員の皆さん、そして2学年の皆さん。自分たちらしさを発揮して、1年生とともに、さらに前進してください。大いに期待しています。

ところで、大正から昭和にかけて活躍した、河井寛次郎(かわいかんじろう)という陶芸家の言葉を皆さんに紹介したいと思います。

「過去が咲いている今 未来の蕾(つぼみ)で一杯な今」

美しい素敵な言葉だと感じる反面、現実の重さ・厳しさを表した言葉でもあると感じます。

自分がこれまでに歩いてきたその歩き方が、現在の自分の「今」に花咲いているというのです。そして、今現在歩いているその歩き方が、未来の蕾になっているのです。

今年の東祭のテーマは、「3色で一つの花となれ」でした。東祭当日は、感動の花を咲かせましたが、東祭に向かう過程で全校一人一人が自分の役割を果たすという歩みを重ねることで、蕾をつけ、当日素晴らしい花が咲いたのです。その後の取組でも、「東祭で咲かせた花をさらに大きな花に」という呼びかけがなされていましたが、まさに、日々の取組で大きな花を咲かせるための蕾をつけようという呼びかけだったのだと思います。生徒会の取り組みに限らず、あなたの生き方という点で、今、あなたにはどんな花が、どんな風に咲いているのでしょうか。あなたの未来に咲く花を意識して、今をどう生き、どんな蕾をつけていますか。既につけた蕾や今咲く花を変えることはできませんが、心して今を生きることが、未来につながることをぜひ心に刻んでおいてください。

休みを迎えるにあたり、皆さんに4点お願いがあります。

- 【1点目】引き続き感染予防対策・健康観察を続けてください。須坂市も含めた周辺地域の感染拡大は落ち着きを見せてきてはいるものの、以前よりもずっと新型コロナウイルスの感染は身近なものになっています。家族が、自分が、友だちが、いつ感染してもおかしくないところまで来ています。年末年始は、自粛が求められているとはいえ、県内外の多くの人の移動が見込まれます。普段以上にリスクが高まることを自覚してください。また、先日各学級で考え合ってもらいましたが、感染してしまった人の心を傷つけないように、正しい知識・正しい恐れ方を確認し、人権感覚を磨きましょう。
- 【2点目】ゲームやネットなどプライベートでのメディアの使用時間についてです。昨日、一人1台のタブレットが学校に届きました。できるだけ早く、皆さんが利用できるよう準備したいと思っていますが、そうするとこれまで以上にメディアに接する時間が増加します。例年になくプライベートでのメディアの使用時間が増加していることを考えると、心身の健康や学力への悪影響も心配されます。使用時間・使用場所・管理方法など、家の人ときちんと話し合ってルールを再確認し、自分の意思でしっかり守ってください。
- 【3点目】たった一つのかげがえのないあなたの「命」を、何があっても守ってください。開放感やいろいろな誘惑から思わぬ事故やトラブル、失敗を招かないよう冷静な判断・落ち着いた行動をしましょう。

【4点目】家族や友達、自分自身のことで様々な悩みや不安を抱え、苦しくつらい思いで心が一杯になってしまふこともあるかもしれません。そんな時は、すぐに誰かに相談してください。学校の相談メールも24時間、どこにいても私のスマホで確認できるようになっています。学校にも身の回りの誰にも相談できないというときには、生徒手帳に記載されている相談窓口や以前配布した「御守り」の連絡先に、迷わず電話をしてください。誰かにSOSを出すことはとても大事なことです。

最後になりますが、古来から日本人はこの年末年始を大事な節目として生かしてきました。皆さんも節目をしっかりと作り、1月8日の始業式には、全員が、新たな希望を抱いて元気に登校してくれることを願っています。おわります。

～生徒の所感発表より

二学期には、私たちにとって初めての東祭がありました。新型コロナウイルスの影響で例年通りできなかった種目もありましたが、その中、クラスで特に協力して作り上げた学級旗とリレーと大縄の3つのことについて振り返ってみたいと思います。

学級旗の制作では、クラスのテーマにそった学級旗を候補から選び制作を始めました。どのように制作をしていったらよいか戸惑ってしまうこともありましたが、下書きから着色まで一人一人が参加し、一つのことを協力してできました。学級旗を使いチャレンジランキングを皆で応援することができてとてもよかったです。

リレーではバトンスのタイミングを合わせることも難しかったです。次の人にバトンをわたすときに何か声をかけることや走る順番をチームで相談して練習をしました。そうすることでよりバトンスがスムーズにできるようになりました。その結果チームワークがよくなりタイムが段々と速くなっていきました。そしてチーム全体で喜び合ったり、協力して一つのことを話し合ったり、やり方を工夫して試してみたりすることでチームワークがすごくよくなり、成果が出たことはとてもよかったです。

大縄は、今年は密を防ぐために2チームに分かれて行いました。2チームあるためお互いのよい所、改善していった方がよい所の話し合いをしました。また人と人との間隔を1m以上あけなくてはいけなかったため跳ぶタイミングがなかなか合いませんでした。小さな声でもみんなで声を合わせることでリズムが合うようになりました。そして、休み時間等には、先輩の姿を見て、自分たちなりにリズムをゆっくりにしてやりました。練習時間が十分にとれませんでした。貴重な練習時間では、委員だけでなく、皆が自ら行動する場面がありました。当日は思ったようにはいきませんが、つまずいたとしても、声を掛け合い、何度も挑戦することができました。

私は、東祭を通して、クラスの心が一つになったと思います。今年行ったことは、必ず来年にもつながると思います。また東祭だけでなく色々な場面でクラスが一つになり、もっとクラスの絆が深まっていけるようにしたいです。

【1年女子】



私が、二学期を振り返って一番印象に残ったことは、東祭です。理由は3年生が全校を引っ張る姿がかっこよく、そのおかげで私たち1、2年生は東祭で、クラスの団結を感じて楽しむことができました。

でも、いざ私たち2年生が引き継ぎの時期となると不安になります。先日生徒総会で全校の前であいさつをしたときは緊張しました。引き継ぎ会では、3年生から説明を聞いて、見えないところで3年生が作り上げてくださった苦勞を改めて知りました。

しかし、1人で不安なことも2学年全員で乗り越えていきたいと思っています。そのために、今は自分ができる日々の活動を大切にしたいと思っています。特に私は、給食保健副委員長として、健康観察やうがい、手洗いの呼びかけを行い全校の感染症予防に取り組みたいです。

いよいよ三学期、生徒会を引き継ぎ、学年も一つ上がる準備になります。学習に力を入れ、提出率100%を目指し、授業中はしっかり発言していきたいです。これらのことを三学期にがんばり、3年生になる準備をしていきたいです。【2年女子】



二学期を振り返って、私は二つ印象に残ったことがあります。



一つ目は、修学旅行です。本来なら4月に京都・奈良へ行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、10月になってしまいました。行く先も北信地域となり、本来の京都・奈良に行けなかったのはとても残念でしたが、こんな状況で、修学旅行を行うことができたこと、新たに長野県の魅力も知ることができたのでよかったです。

二つ目は、部活動です。吹奏楽部3年は、例年なら東祭で最後ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となった夏のコンクール、その代わりの音楽祭が11月に行われることになりました。そして、そこでの演奏が部活動の最後となる予定でしたが、その音楽祭も、メセナホールでの演奏から、学校の体育館でのビデオ撮影となってしまいました。残念な終わり方になってしまいましたが、最後まで笑顔で楽しく終わることができました。改めて3年間吹奏楽部でよかったと思いました。

今年は思うようにいかない活動ばかりで、特に行事が多い二学期は、長いようで短かったと思います。中止になってしまう行事がたくさんありましたが、行われた行事に全力で取り組むことができたのでよかったです。

三学期は、いよいよ受験です。3年生にとって、三学期は卒業という義務教育の終わりとともに、高校に向けてのスタートラインでもあると思います。今まで以上に当たり前のことを当たり前にできるようにしたいです。

また二学期の課題をそのままにするのではなく、行動に移していけるようにしていきたいです。3年生にとって残された登校日数は46日限られた日々を今のクラス、学年と楽しく充実した後悔しないようにしたいです。【3年女子】

新型コロナウイルス感染に関わる人権教育の実践

～身近に迫る「新型コロナウイルス感染」どのように対応しますか。～

新型コロナウイルス感染が、全国各地で猛威をふるっています。市内でも感染事例の報告があり、感染防止対策の指導はもちろん、感染者、医療従事者等の人権についても、身近な問題として、生徒に考えてもらう授業を行いました。



1年 授業の感想

今日「コロナ」についての差別のことをやりました。今はコロナがじわじわと近付いてきて、感染のリスクがあります。不安や怖さもあるけど、やっぱり差別はダメだと思いました。もし感染してしまった人がいても、責めずに心配をし、治って戻ってきたときは、喜び合えたらいいと思いました。けど、まずは、感染しないように対策をしっかりとしていきたいです。

もし私の身近なところでコロナの感染者が出たら、まずその人の気持ちを考えて、私がやっていいこと、またはできることや、やってはいけないこと、またはできないことを見極めてみます。コロナにかかって苦しい思いをしているのは本人です。その人を責めたり、陰口を言ったりしないようにしたいです。もちろん私たちはいつも以上にコロナ対策をしなくてはならないので気を付けます。また私自身がもしコロナだったらと考えて行動したいです。

2年 授業の感想

今日の授業を通して、自分の気持ち（コロナにかかってしまった友だちが完治して戻ってきてても変わらずに接する）がよりはっきりと見えました。一ヶ月も学校に来ないと、どうしても不安はあると思うので、いつも通り接して、その不安を無くすことができたらいいなと思いました。違う意見を聞いて、本当にその通りだと思ったけど、一番不安なのは本人だから、しっかりと向き合っていきたいと思った。

今日、コロナ禍の差別について考えました。自分が今まで身近にコロナの感染者が出たという状況は考えていなかったんだと思いました。このことはいつ起きてもおかしくない中で、今回、自分ならどうするかを考えることができてとてもよかったと思います。私は正直、不安だけど「変わらず接する」と言う人がとても多くよかったです。もし自分が感染しても、友だちが感染してもこのクラスだったら安心して学校に来られると思いました。

中学校授業体験～仁礼小・豊丘小の6年生が授業体験～



12月18日（金）第5校時、来年度、本校に入学予定の仁礼小・豊丘小の6年生が、「授業体験」にやってきました。中学校の授業体験を通して、中学校生活をイメージしながら小学校卒業まで3か月を送ってほしいこと、さらに、本年度は「仁礼小・豊丘小の交流」を目的に行いました。本年度は「国語」・「数学」の2つの授業のどちらかを選択し、学習しました。

また、体験授業後、6年生に向けて「校長講話」が行われました。国が目指すべき未来社会の姿として提唱された超スマート社会（Society 5.0）のPR動画を視聴し、AIによって変わる近未来の生活をイメージし、「楽しみな未来…」でも、「自動化が進む社会」→「人の役割は？」そして、便利さによって新しく生み出された時間をみんなはどのように使うか。6年生に投げ掛けました。

「君たちに求められる力」の3つの力「情報処理力」「情報編集力」「基礎的人間力」を紹介され、特に「情報編集力」が、大切になると話されました。「情報編集力」を「思考力や判断力、表現力などの総合的なもの」とし、「正解が1つではないこと」を追究、考えることで、この力が付いていくと話されました。具体的に「正解が1つではないこと」「どうやって『かき氷』を片手でたべられるようにしますか」を問いかけられました。また、今までの大事にされてきた「知識・技能」である「情報処理力」はこれからも大切であること、「情報処理力」と「情報編



小学校卒業まで3か月

○自分の得意なこと、好きなこと、将来の夢や目標を考えてみる。そのために、
⇒中学校で頑張りたいことは？
⇒今頑張らなければならないことは？
○今頑張らなければならないことを、すぐ実行する
◎自分をコントロールする力をつける
○実行したことを中学入学まで続ける
今やれないことは、中学に入ってもできません

夢のある人は、希望がある
希望のある人は、目標がある
目標のある人は、計画がある
計画のある人は、行動がある
行動のある人は、実績がある
実績のある人は、反省がある
反省のある人は、進歩がある
進歩のある人は、夢がある

集力」のベストミックス、これらを養う過程で培われる「基礎的人間力」の大切さについても話されました。

さらに、GIGA スクール構想「一人1台タブレット」の東中の取組も紹介し、最後、小学校卒業まで3か月に行ってほしいこと、そして、「夢八訓」で話を結ばれました。

【6年生の感想から】

授業はとても分かりやすく、おもしろく授業を進めてくれて楽しかったです。東中体験授業をする前の授業の予想としては、ずっと先生がしゃべって、黒板を書き写すだけかと思ったけど、ほとんど発表して、おもしろい授業だったから、すごく印象が変わりました。だから、早く中学校に行きたくなりました。

中学校の授業は、スクリーンを使っていて分かりやすかった。〇〇の説明というときにスクリーンに説明が残っていて、聞き逃したところを見ることができた。先生には、一人一人に自分だけの行書プリントを作ってくださいってうれしかったです。それといつも先生に教えてもらっている姉はうらやましいと思いました。

今日の体験授業を受けて、中学校の授業についていけるか不安だったけど、教えてくださった先生は、優しくて明るい先生で、仁礼小の人でも明るく楽しい人達で、とても安心できました。校長先生は、「自分で道を切り拓く」ことが今後必要になると教えてくださりました。今後、自分はコンピューターに関する仕事に就いてみたいと考えています。入学したら「三心自立」できるよう努力したいです。

今日、東中の体験授業に行きました。どんな授業なのかわくわくもあったし、仁礼小の人がたくさんいて緊張しました。授業をしていると案外、小学校の授業と同じ感じがして楽しかったです。グループで話し合うときがあって、知らない仁礼小の人となったから、言いたいことが言えなかったけど、そこは直していきたいです。校長先生の話聞いて、中学校に行くために、今しかできないことや伸ばさなければいけないことは、今のうちにやっておかなければならないんだと思いました。

12月の様子から



指導主事を招いての授業研究会（3日）



社会科・数学科・理科・保健体育科



上高井教頭会研修授業公開（11日）



賞状伝達式（14日）



生徒総会（17日）

2学期が終了しました。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、数多くの行事や活動等、制限せざる得ない場面が多々ございましたが、保護者の皆様には、様々な面でのお支え・ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

明日より1月7日までの「13日間」は、年末・年始休業となります。全国的にも新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。年末年始は、感染症予防に心がけ、生活リズムを整え、事故やケガのない、休みをお過ごしください。

なお、休み中、インフルエンザ感染、新型コロナウイルス感染や疑い、濃厚接触の指摘、また心配なこと、ご相談がありましたら

28日（月）、4日（月）～7日（木） 8：30～16：30 （TEL）245-2342

または、休業期間の相談窓口となる専用のメール soudan@azuma-school.ed.jp までご連絡ください。それでは、よいお年をお迎えください。